

# AJU 愛実

## 第38号 会報

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
  - ・居宅介護事業所あみ
  - ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)
- 定価：一部100円

「対話と理解」／島しづ子	・・・P1
10周年記念講演アシスタント感想	・・・P2
大地の家のページ	・・・P3～5
紙風船のページ	・・・P6～8
「手伝わなくていいからね」／南 寿樹	・・・P9
寄付者名簿	・・・P10



公演前 舞台裏  
／紙風船

ガスエネルギー館 外出  
／大地の家



## 「対話と理解」

理事長 島 しづ子

毎月届く「SPIRITUALITY」という小冊子がある。「べてるな人びと」を向谷地生良さんが連載していて興味深い。10月号は、哲学者 鷲田清一の言葉を紹介している。以下は引用である。『対話の可能性』(鷲田清一) 「人と人とのあいだには、性と性のあいだには、人と人以外の生きもののあいだには、どれほど声を、身ぶりを尽くしても、伝わらないことがある。

思いとは違うことが伝わってしまうこともある。＜対話＞は、そのように共通の足場を持たない者のあいだで、たがいに分かりあおうとして試みられる。そのとき、理解しあえるはずだという前提に立てば、理解しえずに終わったとき、『ともにいられる』場所は閉じられる。けれども、理解しえなくてあたりまえだという前提に立てば、『ともにいられる』場所はもうすこし開かれる。対話は、他人と同じ考え、同じ気持ちになるために試みられるのではない。語りあえば語りあうほど他人と自分との違いがより繊細に分かるようになること、それが対話だ。『分かりあえない』『伝わらない』という戸惑いや痛みから出発すること、それは、不可解なものに身を開くことなのだ。」

愛実の会の理念のひとつに「**2、コミュニケーションの重視**、相互に信頼し合える人間関係を築くためにコミュニケーションを大切にする」がある。鷲田先生の言葉によれば、信頼関係を築くという事と理解しあえるという事は違うことのようにだ。信頼関係とは自分とは意見が違っていい、でも自分の意見を知ってもらい、尊重してもらい、自分もまたそうするという事かもしれない。

愛実の会と同じぐらいの歴史をもつ「いこいの家」のスタッフはカトリック教徒、神父、プロテスタント信徒、牧師、浄土真宗和尚、無宗教者と背景が全く違う。その上、お互いが認めるほど個性豊かな仲間である。(個性というより変わりものである。大丈夫、島が一番変わり者だから)

最初は意見が合わなくて「一緒になんかやれない」とたびたび思ったものだ。20年以上前から、会議の前にひとりひとりが議題をあげ、自分の思っている事を話すようにしたら、決定事項が自分の思い通りにならなくても、互いに満足するようになった。この頃はスタッフ会のたびに「なんか老人会の会話だよ」と悪口を言う私だが、深く信頼してやまない仲間である。それぞれの役割や着眼点が違うし、奉仕の仕方も違う仲間が互いにひとつの目的で集まり働いている。世の中もこういう風に互いの違いを認め合い、尊重し合えたらいいのになあ、と思うこのごろである。

みなさま、今年も愛実の会を見守って頂きありがとうございました。  
よきクリスマスと新年をお迎えください！



## 「べてるから吹いてくる風に学ぶ」

4月30日に法人10周年記念講演会を行いました。講演会のアシスタントの感想文二回目です。

⑤ べてるの家の職員さんとメンバーさんが歩んできたことを中心に、べてるの家が教会として地域に開かれていることや、地域が教会を受け入れていることをお話ししてくれました。べてるの家がある浦河は先住民（アイヌ民族）の多い場であることから、言葉の違いを乗り越えて、自身の気持ちを言葉や形にしていたのだと思いました。「言葉は神から与えられた物」というフレーズがありましたが、自分は神から与えられたのは日本語で、その言葉の中で人と人とのコミュニケーションを行っていると感じ、人は役に立つ言葉をつなげ、「自身を伝え、相手を知る」ことができていると思った。現代の社会が「自分の言葉で自身を表現する社会」になっていることから、「自分の弱さ」を知ることで、前向きに言葉を使えるようになると思いました。逆に「言葉で話さない」と、病気で話すことになる」というフレーズもありましたが、言葉を使えることそのものが人としてのステータスだと思い、つねに使うことで自身が作られていくものなのだと思います。

（その他・伝達事項）向谷地生良さんや伊藤知之さんといった人々ともっと関係を深められると良いと思いました。講師を呼ぶだけでなく、こちらからも講演会に参加できたらと思います。  
（松山 遼）

⑥ 当事者研究やミーティングで語ることにより、自分の言葉をつかまえて取り戻すことにより回復へ至るということに、弱さを情報公開できる信頼関係はどのように築いていくのか、聞く側となった時に受け止める耐性を持てるのかとの疑問を持った。聞くというのは、どう答えるのか、何を言おうかとは考えずに、その場と時を共にしてれば良いのか、まともに正面から受け止める耐性は私にはない。そのために対一ではなく、グループでの聞き合い、ミーティングが有効なのだろうと感じた。

また、自立について、自分で全てできるようにではなく、いろいろなものや人、難しい言い方では社会資源を活用して生活していく、支えていくと話されたことは、愛実の会の理念にもあり、メンバーの生活と将来を支えていく基本とすべきことと受け止めた。  
（佐藤 直樹）





# 大地の家のページ

(P3~5)

## 8・9月の行事など

- |          |           |
|----------|-----------|
| 8月15日(月) | 流しそうめん    |
| 8月31日(木) | 津軽三味線演奏会  |
| 9月7日(木)  | 関ヶ原鍾乳洞    |
| 9月15日(金) | 十五夜のおやつ作り |

### 流しそうめん



夏にはテラスで流しそうめんをしました。

本物の竹を使って・・・ではありませんが、テラスを横切る長い道をそうめんが勢いよく流れていきました。意外に早い水の流れて、メンバーも最初のうちは上手く取れずに通過していくそうめんを見送っていましたが、だんだんとコツを掴んで「ヒョイツ」と見事にキャッチ！上手く取れるとメンバーも得意げな顔をしていました。

流しそうめん体験の後は室内に戻って、用意されたそうめんと天ぷらをお腹いっぱいになるまで食べました。

### 津軽三味線演奏会

愛実の会のホールにて、津軽三味線の一座をお招きしました。

「バンバンバン・・・」とホール中に響き渡る津軽三味線の音色は、CDとは全く違う迫力をダイレクトに耳や肌へと伝えていました。

その普段聴かないビリビリとした音はメンバー達にとっても新鮮だったようです。演奏が始まるやいなや、先ほどまで眠そうにしていた1人のメンバーは目をパチリと開け声を出して笑っていました。曲の盛り上がる場面ではリズムに合わせて手を叩き、三味線と一緒に音を奏でました。



## 関ヶ原鍾乳洞



関ヶ原の鍾乳洞は車椅子でも入れる段差のないバリアフリーの鍾乳洞です。中に入ると流石は天然の冷蔵庫、ヒンヤリと冷たい空気がお出迎えしてくれました。

狭い通路は車椅子がギリギリ通れる幅しかなく、すぐ隣には地下水が流れ、魚が泳いでいました。低い天井からポタポタと落ちてくる水滴が頭や首に当たり、メンバーもアシスタントも少しドキッとした場面もあったのではないのでしょうか？

壁もヒンヤリと濡れており、ペタペタと手で触りながら洞窟の中を散策しました。ちょうどその日は他に利用するお客さんもおらず、鍾乳洞に響く声を楽しんだり、ゆっくり見て回ることが出来ました。

初めての鍾乳洞、気分は探検隊で楽しく過ごしました。



秋の定番十五夜には、大地の部屋で月見だんごを作りました。

材料の白玉粉とお豆腐を混ぜ合わせるとベチャベチャとした何とも言えない感触……。メンバー達はその感触に不思議そうな顔をしたり、楽しんだりそれぞれの反応がありました。お団子の形作るのも個性が出て、大きいものや小さいものなど様々でした。

お月見の月をイメージして黄色く着色するととても綺麗に色付きました。

お団子が茹で上がり、一口味見してみるとモチモチとしてとても美味しかったです。

あらかじめ餡子を鍋で煮て、お団子と合わせて冷やしぜんざいにしました。甘いものが大好きなメンバー達は、いつもより口が大きく動いていました。

## 十五夜のおやつ作り





## におって当てよう

日常生活の中で私達は、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感を、当たり前を感じていますが、障がいのある方々にとって、その五感はどのように感じられてみえるのでしょうか。

私が五感の嗅覚を活動として始めるきっかけになったのは今から8年近く前になります。言語プログラムの中でごま油をメンバーにかいでもらいました。これは、嗅覚を感覚刺激する目的があるそうです。この取り組みを見て「私にも“におい”で何か出来ることはないだろうか」と思いついたのが“常に身近にある”食品を使った活動「におって当てよう」です。

それでは、この活動内容について紹介いたします。

まず最初に問題とする2枚のカードを用意します。このカードはどちらも似た匂いの食材で、例えば「きな粉・すりごま」「削りがつお・するめ」「ゴボウ・里いも」や「桃・メロン」等です。

次に紙コップの中に匂って頂くものを入れ、中身が見えないように不織布で蓋をします。活動を始めたばかりの頃は、外に匂いが上手く伝わらず試行錯誤の連続でした。

そして匂ってもらったメンバーの表情や仕草でアシスタントが気持ちを汲み取り代わって答えます。メンバーの中には、刺激の強いワサビやショウガなどでは顔を歪め、全身で嫌だと表現されたり、ご自分の好物の匂いですと食べたそうに口を近づけられます。

5問中1～2問は、写真なしのノーヒント問題です。そこでアシスタントが「好きなにおいですか」「嫌いなにおいですか」「今まで、におった事がありますか」・・・と色々問い掛けをしますのでコミュニケーション力が発揮されます。

におって頂くものは、乳製品・発酵食品・野菜・果物・調味料等ですが今後は食品にこだわらず「これってこんなににおいがするんだ！」とメンバー達に感じて頂けるような“におい”の幅が広がっていかれたらと考えています。



におって当てよう担当アシスタント：O



# 紙風船のページ

(P6~8)

木々の色づきが深まり、街にはクリスマスの装いもちらほら。人形劇の稽古はもちろん、季節の行事を大切にしている紙風船。日々の活動の中でいろいろな出会いやうれしい出来事がたくさんあります。今回も、そんなメンバーのいきいきした様子をご紹介します。

## キャラバン隊が来たよ!

24時間テレビ～愛は地球を救う～のキャラバン隊が、紙風船にやってきました! 数年前から募金の様子やタレントさんとの交流の様子などで紙風船を紹介していただき、すっかり番組常連(?)になっています(^ ^)

そして今年も募金会場として愛実の会の駐車場をお貸しすることになりました。今年の番組のテーマは「告白」。撮影は午後からという事で、午前中に紙風船のメンバーお得意の”川柳”で「告白」をお題に詠んでみました。そしてなんと! 番組スタッフの目に留まったメンバーの句がテレビで紹介されたのです! また、今年は大地的家のメンバーも参加することができ、さらにつながりが広がったと思います。

8月の暑い日差しの中、毎年募金活動を続けられるタレントさんやアナウンサー、番組スタッフの方々には頭が下がります。私たちはこれからもできる限りの協力を続けていきたいと思っています!



川柳で思いを告白しました!(^ ^)!



## 世界を体感! リトルワールド♪

絶好のお出かけ日和になった9月21日 犬山のリトルワールドに出かけました。メンバーは、レストラン「ワールドバザール」で世界のお料理を楽しみ、「ご利益ハッピーコース」を巡りました。沖縄名物サーターアンダギーを食べて運をもらい、台湾のおみくじにドキドキしたりハッピーカラーのかき氷を食べたり。民族衣装の試着をしてみたメンバーもいました(\*^\_^\*)

場内はすっかりハロウィーンのムードでお土産物に悩んでしまうほどでしたね! 最後は全員でポルトガルサーカスの華麗な技に大きな拍手!!

少し汗ばむほどの気候でしたが、ちょっとした世界旅行気分を味わう事ができました。



ベトナムと韓国の衣装でハイ、ポーズ♪♪





## シティハンディマラソンにチャレンジ!



普段室内の活動が中心で、外で身体を動かすことが少ないメンバーですが、紙風船の活動の中には「体力づくり」の時間があり、気候が良い時にはできるだけ外へ出たり室内でもミニバスケットやテーパーホッケーなどで身体を動かしています。

そんな中、10月1日に久屋大通公園で毎年恒例の「名古屋シティハンディマラソン」が開催され、体力自慢のメンバーがチャレンジしてきました!



つきぬけるような青空の下、大勢の参加者にとぎやかな会場の雰囲気。スタート時にはちょっと緊張していたメンバーですが、合図とともに勢いよく走り出した3人! 沿道からの温かい声援の中、それぞれのペースで今出来る精一杯の力を振りしぼって車を漕ぎます。他のランナーとぶつかりそうになったり路肩に寄りそうになったりすれば片手をうまく使ってかわしていきます。メンバーの、いつも以上の気力とパワーは本当に素晴らしいものでした!

800mのコースを3人とも無事に完走でき、その顔には汗と共に達成感があふれていました。また来年もチャレンジし、もっと上位を目指すそうです! 応援しています!



## 待ってます!



13名で活動している紙風船に、来年度から新しい仲間が増える予定です!(^\_^)!

現在高校3年生のS.Mさんは、これまでも見学や実習に来たことがあり、メンバーともすっかり仲良くなっています。今回は卒業までの最後の実習でした。

初めはやっぱりどこか緊張していたSさんですが、何にでも興味を持ち積極的に参加してくれました。セリフ合わせや人形の操作に取り組んだり、給食をメンバーと一緒に食べたりしているうちに笑顔でお話もしてくれるように! そんなSさんへメンバーも優しい言葉をかけ、紙風船には温かい雰囲気があふれていました。

体調には十分に気をつけて、残りの学生生活を満喫してください! メンバーも来年春のSさんの入所を心待ちにしていることでしょう!

人形操作を体験!



みんな仲良く♪



.....【公演だより】.....

- 第228回 2017年7月25日 みなと福祉会ワークス昭和橋 「ポーちゃん」
- 第229回 8月 4日 児童デイこのき港校招待公演 「ポーちゃん」
- 第230回 8月17日 韓国交流招待公演 「ポーちゃん」
- 第231回 8月27日 北なごやパペットフェスタ 「かめさんのありがとう」
- 第232回 10月 8日 ひまわりホール子どもアートフェスティバル  
「ぼくたちにできること」
- 第233回 10月29日 安城市ラビングルックお楽しみ会公演  
「ぼくたちにできること」
- 第234回 11月8日 デイサービス心温(こころん) ボランティア公演  
「ポンタとたっくん」
- 第235回 11月29日 大府の郷ボランティア公演 「ポンタとたっくん」



韓国交流公演「コマッサミダ!!〜」



紙風船のアシスタントの知り合いで日本にも留学経験のある学生さんと、その友達の方々がはるばる韓国から見学にいらっしゃる事になりました!

メンバー、アシスタントの悩みはやはり言葉です。「ポーちゃんのセリフを全部韓国語にしないといけないのかな?」「せめてあいさつだけでも覚えないと…」いろいろな心配もありました。そこで、ポーちゃんの稽古はもちろん、韓国の文化や歴史なども少し勉強しました。当日は韓国語の名札やパンフレットを用意してドキドキしながらお客様をお出迎えたのです。

でも、そんな心配をよそに、4人のかわいい女子学生さん達はメンバーともすぐに打ち解けることができました。後からの感想の中で、「日本語は解らないけれど音楽や表情で伝わりました」と言ってくれました。また「今まで抱いていた障がい者のイメージが変わりました!」とも。紙風船の年間スローガン「ふれあいつながり大切に」「心からの笑顔を上げよう!」が実ったような気がした瞬間でした!

(※コマッサミダ…ありがとう)



【これからの公演予定】

12月9日 長久手市社会福祉協議会主催 ながくてふれあい劇場 「ポーちゃん」



〜公演依頼を募集しています〜

☆1公演2万円〜 (交通費等を含め予算につきましては相談に応じます)

☆各地域のイベントや学校の福祉教育など、目的に合わせたプログラムを組むことができます。紙風船は、観てくださる方々に笑顔が生まれる楽しい人形劇をお届けします。一緒にステキな時間を過ごしませんか?

ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターで紙風船の活動の様子をご覧ください。

「人形劇団紙風船」をWebで検索!

人形劇団紙風船



## 手伝わなくていいからね

南 寿 樹

今からちょうど20年前。当時私は愛知県立港養護学校高等部1年生の担任で、武夫を受け持った。武夫は中学部1年から3年間担任をし、高等部になっても持ち上がった生徒。武夫は、言語理解はできるものの、発語は「あい」「あん」「あー」の3つだけ。

けれども、その3つの言葉のイントネーション（強弱や高低）で意思や感情を表す。「へえ、武ちゃん掃除してくれるの？」（私）「あい」（武夫）。「でも、ここは先生にやらせて」（私）「あん」（武夫）。「やりたいの？」（私）「あい」（武夫）  
・・・。

よく私の上着の後ろを指でつまんでついてきた。（次はどんな遊びをしてくれるのだろう）と私からの働きかけを待っている。突き放すと拗ねてわざと指示を聞かない頑固さがあり、叱っても、そのかわりをむしろ喜ぶところがある。

春のうらかな日。副担任の水谷真子先生（5年目）が授業担当で校内散歩をしていた時に、武夫が校門から外に出ていくという事件が起こった。

私は、緊急連絡を受けて、校門に駆け付ける。校門に真子先生、校門から約30メートル先の歩道に武夫の姿があった。

「武ちゃん、待ちなさい」「それ以上行ったら危ないから」真子先生は焦って追いかける。学校の前は、交通量の多い片側3車線の大通りで危険だ。でも武夫は鬼ごっこを楽しむように逆に離れていってしまう。

青ざめる真子先生「大丈夫。僕が代わるわ。玄関の自転車もってきて」と声をかける。武夫は約50m先でこっちを見ている。追いかけると逃げるつもりだ。

真子先生が自転車をもってくる。猛スピードで追いかけてやめた。

（そうだ、武夫はやらなくていいと言うと、逆にやる性格だ。それに賭けてみよう）私は、自転車をわざと倒し、大声で「武ちゃーん、手伝わなくていいからね。」と言い、左手で制して右手で自転車を起こす動作をする。武夫はリレー競争の次走者のように走り出そうとして、こっちを見ている。私は畳みかけるように、大きな手ぶりと声で「この自転車は」「先生が押していくので」「武ちゃんは手伝わなくていいからね」と続ける。

すると、武夫は「あー」と笑いながら駆け寄ってくる。（狙い通りだ）そして私から自転車を奪い取り、押して学校に戻ろうとする。「あーあ、せっかく先生が押そうと思ったのに、玄関の自転車置き場まで持っていかななくていいからね」と言う、「あーんあー」と（いやいや僕が戻す）とでも言いたげに、いたずらっぽく笑いながら押す。真子先生は目に涙をためて言う。「もう、武ちゃん。交通事故に遭ったらどうしようかとメチャあせったがね。」そして3人並んで笑いながら帰ってきた。

教育現場において、高圧的な指導の風潮に流されそうになる時、私はいつもこのエピソードを鮮明に思い出す。そして「力づくではない、気持ちを動かす指導」とを考える。

城丸章夫先生（元千葉大学名誉教授）は「指導とはその気にさせること」と言っている。

【NPO愛実の会 寄付者名(順不同・敬称略) 2017年月7月1日～10月31日】

★寄付金

笠谷 恵子	杉本 誠	宮川 優子	榊原 喜代子	森 豊	真木 芳子
佐藤 全弘	伊藤 操	牧野 雅樹	今枝 ミサ子	野崎 典子	河村 比佐子
宇野 伸一	柏木 實	橋本 直樹	大村 恵子	奥山 喜正	浅井 汎見
志村 澄江	福島 真	難波 幸矢	岩崎 千恵子	後藤 宣彦	三股 恵美子
藤原 信子	近藤 洋	田中 綏子	加藤 由美子	堀尾 勇夫	片桐 美由紀
伊藤 和子	川口 満	鈴木 洋子	伊藤 あつ子	小川 知也	佐藤 千萬子
杉山 清美	太田 栄	武井 陽一	足立 克己	平林 芳一	榎本 久美江
深谷 節子	黛 八郎	矢澤 綾子	木村 淑江	小田 弘平	小薄 満寿美
坂口 良彬	桐村 剛	脇田 純子	梅津 ヨシ子	風間 文子	杉浦 依都美
赤星 実環	東 昌子	比企 敦子	佐藤 雅美	榛葉 英子	吉岡 満智子
山内 正美	有賀 進	石田 利彦	前澤 まき代	見木 靖美	矢口 由美子
梅村 亜恵	山中 高	楽 有紀美	三矢 かな江	三木 一	長谷川 孝子
阿部 健二(複数回)		島 しづ子(複数回)			
中本秀行・睦美		大淵 哲也・真喜子			

京都市みぎわキリスト教会  
在日大韓基督教名古屋教会婦人部

京都教区障がい者問題特設委員会  
みどりファミリー(複数回)

★紙風船夢づくり

岡本 亜子	小島 俊則	岸野 奈奈子	永井 猛	森 豊
宮原 祐子	瀬口 昭代	村瀬 きよ子	長崎 京子	竹山 徹
浜嶋 一史	酒井 淳子	可知 一三四	矢澤 綾子	川口 いずみ
荒川 敦子	佐藤 雅美	石崎 亮史朗	佐田 秀子	山口 安男
田中正文・孝子		(有) いろり		

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名(順不同・敬称略)】

★寄付金

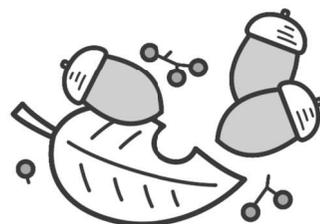
大藪 礼子 青本 光子 吉谷 尚之(複数回) 喫茶 愛実

★物品寄付

水谷 恵子 寒川 公子

【ボランティアでご協力いただいた方(順不同・敬称略)】

紙風船 永田 友香



ご協力ありがとうございました。

## 職員異動

### 【新人・正職アシスタント】

隅田 豊（すみだ ゆたか）

10月から大地の家で働き始めました隅田です。

以前は整体師として働いていましたが、57歳で介護の新しい分野に飛び込みました。みんな素晴らしく、楽しい人たちに出会えてワクワクしています。よろしくをお願いします。

### 【退職・ドライバー】

川口 満

### 【退職・給食】

望月 八重子

長い間、お疲れ様でした。本当にお世話になりました。

お身体に気をつけて楽しい日々を過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

## 寄付金のお願い

事務局より今年度の寄付金状況についてお知らせいたします。

**目標額320万円 10月末現在寄付金総額 1,628,570円 達成率50%**

皆様方からの多大なご支援に心より感謝申し上げます。愛実の会では2017年度の重点課題として、メンバーの地域生活を一生涯支えていくために『居宅介護事業所 あみ』の事業拡充に向けての取り組みが11月よりスタート致しました。そのためにも更なる皆様方のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://npoaminokai.wixsite.com/aminokai

または

### 【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 座番号 00850-6-187490

座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 100円 何円でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・土地建物改修費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）